

# 「3時間作図法」・・・H30予測課題1での作図経過あり

## 1. 試験6時間30分の時間割

- ・試験は、11:00～17:30までの6時間30分の試験である。
- ・研究会が推奨する全体の時間割は、以下の通り。
  - ① 課題読み:20分(11:00～11:20)  
⇒赤ボールペンで1回で読み切る。この20分課題読み内で面積検討と階振分も終了させる。
  - ② エスキース:1時間40分(11:20～13:00)  
⇒この1時間40分には、エスキース終了後の課題との整合性チェック10分を含む。
  - ③ 計画の要点等:60分(13:00～14:00)  
⇒文面チェック10分含む。時間的ゆとりのあるこの段階で丁寧な字で記述を完璧に書く。  
⇒研究会は、記述が他者と差をつけられるものと重視している(10/9記述解答を丸暗記下さい)。
  - ④ 作図:3時間(14:00～17:00)  
⇒エスキースに基づき、ひたすら書くだけ(初受験者でも確実に3時間で書けるようになる)。  
⇒以下の解説は、H30予測課題1を参考に3時間で書く作図経過を説明したものである。
  - ⑤ 最終チェック:30分(17:00～17:30)  
⇒図面と課題との整合性等を確認し、その他も含めミスは10個あると信じて必死に探す。  
⇒この30分によるミス修正時間を取れないと、減点の多い図面となる(合否影響大)。

## 2. 3時間作図法

- ・ここでは、予測課題1の1・2階平面図の解答事例を参考に、作図3時間の作図手順を示す。
- ・以下に示す作図手順の図は、1・2階平面図により解説しているが、3階も同時に書くこととなる。
  - ① 面積表:5分(14:00～14:05)
  - ② 通芯・寸法・柱:15分(14:05～14:20)・・・図1参照
  - ③ EV・階段:20分(14:20～14:40)・・・図2参照
  - ④ 壁・窓:50分(14:40～15:30)・・・図3参照
  - ⑤ 室名・便所・椅子・机・歩行距離等:40分(15:30～16:10)・・・図4参照
  - ⑥ 延焼ライン・断面箇所・外構・環境負荷低減:20分(16:10～16:30)・・・図5参照
  - ⑦ 断面図:30分(16:30～17:00)

- ・研究会は、何度も書いているように「製図試験は時間との勝負の試験」と位置づけている。
- ・毎年、あんなに学習したのに時間が無くて合格できなかったという方が多々いる。
- ・作図は、エスキースが終了していれば、初受験者でも確実に3時間で書けるようになる。
- ・しかし、3時間で書くには、それなりのテクニックが必要である。
- ・以下を参考に、3時間で書けるようになって下さい。  
⇒学校では教えない減点とにならないことから割り切った**短時間作図法**を多々解説している。

# 以下は会員講座での公開